



第251回農林交流センターワークショップ（参加費無料）

11月11日水～13日金

次世代シーケンサーのデータ解析技術

お申込み前に以下ご確認ください。

【申込条件等】Linux/Unixの基礎的なコマンドを理解し操作できて、例えば、lessコマンドの扱いなどに説明を要しないことを前提とします。申し込み多数の場合、実データを所有し、すぐに解析の必要性のある方を優先します（ネットワーク環境は、こちらで準備したものをご使用いただきます。）。

【重要】指定の条件を満たすノートPCをご持参いただきます。詳細はウェブページをご確認ください。

近年、次世代シーケンサー（NGS）が広く利用されるようになり、農学など応用系の分野でも大量塩基配列データを扱う必要性は急速に高まりました。NGSによる塩基配列決定は低コスト化が進み、自らデータを取得しかつ解析することが多くの研究過程で求められています。

本ワークショップでは、農林水産生物に関わる研究者が、実習を通してNGSデータ解析の実際を知り、NGSデータを扱う実践的な力を身につけることを目標とします。コマンドラインでのさまざまなデータ解析を学び、NGSデータ解析の全体像を理解していただくことを目指します。

- ▶開催日：令和8年11月11日（水）～11月13日（金）※3日間
- ▶開催場所：農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター（茨城県つくば市観音台2-1-9）
- ▶申込対象：産学官の試験研究機関の研究者で、次世代シーケンサーのデータ解析技術に関心のある方
- ▶募集人数：20名（全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。）
- ▶その他：研修生宿泊施設のご利用は、受講決定後にお伺いします。



コーディネーター・講師

農研機構 高度分析研究センター
ゲノム情報大規模解析グループ
川原 善浩、熊谷 真彦

※農研機構とは...
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム（通称）です。

講義と実習の概要

11月11日（水）9:30～16:40

- 9:30～09:35【開講】本ワークショップについて
- 9:35～10:30【実習】NGSデータ概論
- 10:30～12:00【実習】ゲノムシーケンシングデータを処理する（1）
- 13:00～14:30【実習】ゲノムシーケンシングデータを処理する（2）
- 14:40～15:40【特別講義（1）】公共データからのウイルス探索と、宿主応答に基づくウイルス性質推定法
- 15:40～16:40【特別講義（2）】育種におけるNGSを用いた遺伝学解析
- 16:40～17:00【総合討論】質疑応答を含む

11月12日（木）9:30～16:00

- 9:30～12:00【実習】VCFデータを“いじってあそぼ！”
～分子系統解析やら集団遺伝学的解析をやってみる時間～
- 12:10～12:50【ランチョンセミナー（自由参加）】
既存プログラムをつなげる- 生成AIを活用してみる-
- 13:00～16:00【実習】ゲノム新規アセンブル

11月13日（金）9:30～16:00

- 9:30～12:00【実習】メタゲノム解析の基礎
- 13:00～16:00【実習】RNA-Seqによる大量発現データ解析
- 16:00【閉講】

講師



農研機構 高度分析研究センター
ゲノム情報大規模解析グループ

川原 善浩（グループ長）
熊谷 真彦（主任研究員）
矢野 亮一（上級研究員）
矢崎 裕規（主任研究員）
田中 剛（兼任：作物研究室長）

特別講師

川崎 純菜
（大阪大学 特任准教授）
ジェフリ・フォーセット
（リージョナルフィッシュ株式会社
・京都大学）

申込締切日

令和8年10月4日（日）まで

お申込みはウェブページよりお願いいたします。選考結果は、10月9日頃メールにてご連絡いたします。



農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課
〒306-8601 茨城県つくば市観音台2-1-9 TEL.029 (838) 7136 E-mail: koryu7129@maff.go.jp
ホームページURL: <https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/>

